

○ 11月5日(火)

府立学校スクールミーティング(木津高校・山城郷土資料館)



○ 畑 委員長

木津高校を訪問しました。この学校には、普通科、情報企画科、システム園芸科の3つのコースがあります。「TVF講座」を見学しました。Tea, Vegetable, Flower, の頭文字を意味すると知って驚きました。地域の人々に公募をして、毎週火曜日の午後、3年生が学んできた農園芸の知識を披露しながら、ともに実践に取り組むというものです。生徒とともに収穫して作った紅茶に感激されたご婦人や、家庭菜園では実がなかったのに、生徒の指導を得て初めてかぼちゃの収穫ができたと報告される初老の笑顔に、このユニークな取り組みの意味を確信しました。自分たちで揉んで作った煎茶を解説付きで丁寧に淹れてくれた生徒には、目的を持って学ぶことの大切さを教えられました。甘く美味しいお茶でした。情報企画科で学ぶ生徒の力量は、自慢のホームページで見いただけます。是非、木津高校生の今後の活躍に注目したいものです。

その後訪問した山城郷土資料館の屋上からは、ちょうど西の空に傾く夕日に木津川が茜色に染められて、雄大な景色を満喫することができました。あの立地の素晴らしさを、ぜひ訪問して堪能して欲しいとお勧めします。



○ 冷泉 委員

木津高校ではシステム園芸科の授業に、地域の人々が参加されているのに驚きました。初めは大人が生徒に経験を教えておられるのかと思いましたが、逆で、高校生が地域の大人に園芸指導をしていると知り、二度驚き。互いに良い面があるようで、新鮮な喜びです。

その後訪問した山城郷土資料館へは初めて行きました。景色は素晴らしいですが、もう少し交通の便が良いところであれば訪問しやすいと思います。

○ 11月5日(火)

府立学校スクールミーティング(木津高校・山城郷土資料館)

○ 上原 委員



木津高校のシステム園芸科3年生と地域から公募した一般受講生のTVF活動を中心に視察をさせていただきました。今年からスタートしたTea・Vegetable・Flower講座は、3年生の生徒が受講者を指導しながら一緒に作業をするユニークな取り組みです。生徒たちにとって自分の親より年配の受講者を指導することは、自らの学びをより深める良い機会であり、今後もこの活動を継続、発展してほしいと思います。

山城郷土資料館では竪穴住居や展示室などを視察し、ふるさとの歴史保存に寄与している様子がよく理解できます。また地域の子どもの講座などを企画したり色々工夫をして来館者を増やす取り組みをしていることが分かりました。

○ 安藤 委員



木津高校の第一印象は「笑顔」。

のどかな環境に恵まれた敷地内の農場で、システム園芸科の生徒が講師となりT(Tea)、V(Vegetable)、F(Flower)に分かれ、地域の人々(受講生)と土を触りながら課題研究に取り組んでいる姿は、なんとも温かく楽しそうに見えました。

懇談の中でも、世代を越えて関わり合うことの楽しさや、互いの経験など共有できること等々、各々がこの取り組みの充実感、達成感を感じ、相互に「教え、学ぶ」関係が研究を深める一助となり、園芸が結ぶ「地域と学校」の信頼関係がしっかりと根付いている取り組みであることが見受けられました。

地域の人々の素朴な疑問や質問に答えたり、少しでも丁寧に説明しようと無意識のうちに言葉を選んで説明するなど、地域での販売学習、お茶の講習で学んだことを活かし、私たちにも呈茶の実戦を披露してくれました。それらの経験を通じて新しい発見や知識の不足に気づき、次への学びにつなげていこうとする力や自信となるような、意欲と希望に満ちた笑顔がとても印象的でした。

普通科でも学校設定科目に特色ある連携基礎学習の取り組みも見せていただきましたが、学校全体が明るく活気がありました。今後も地域との繋がりを大切にしながら特色ある学校づくりを継続して行って欲しいと願っています。